

JSCE2020について

～2020年4月から活動開始します～

2020.3.13

土木学会 企画委員会

1. これまでの検討の経緯

2018年9月理事会；**JSCE2020策定方針**の承認

- ① 予算措置、体制の構築、② 重点課題の絞込み、③ 中期重点目標との関連付け、④ 評価・運用システムの検討、⑤ ボトムアップ型プロセスと広報の充実

2018年11月正副会長会議；**制度設計WG**の設置

2018年12月、2019年1月；**部門ヒアリング・支部ヒアリング**

2019年1月；**調査研究委員会に研究課題提案募集**

2019年3月理事会；**基本方針**の承認

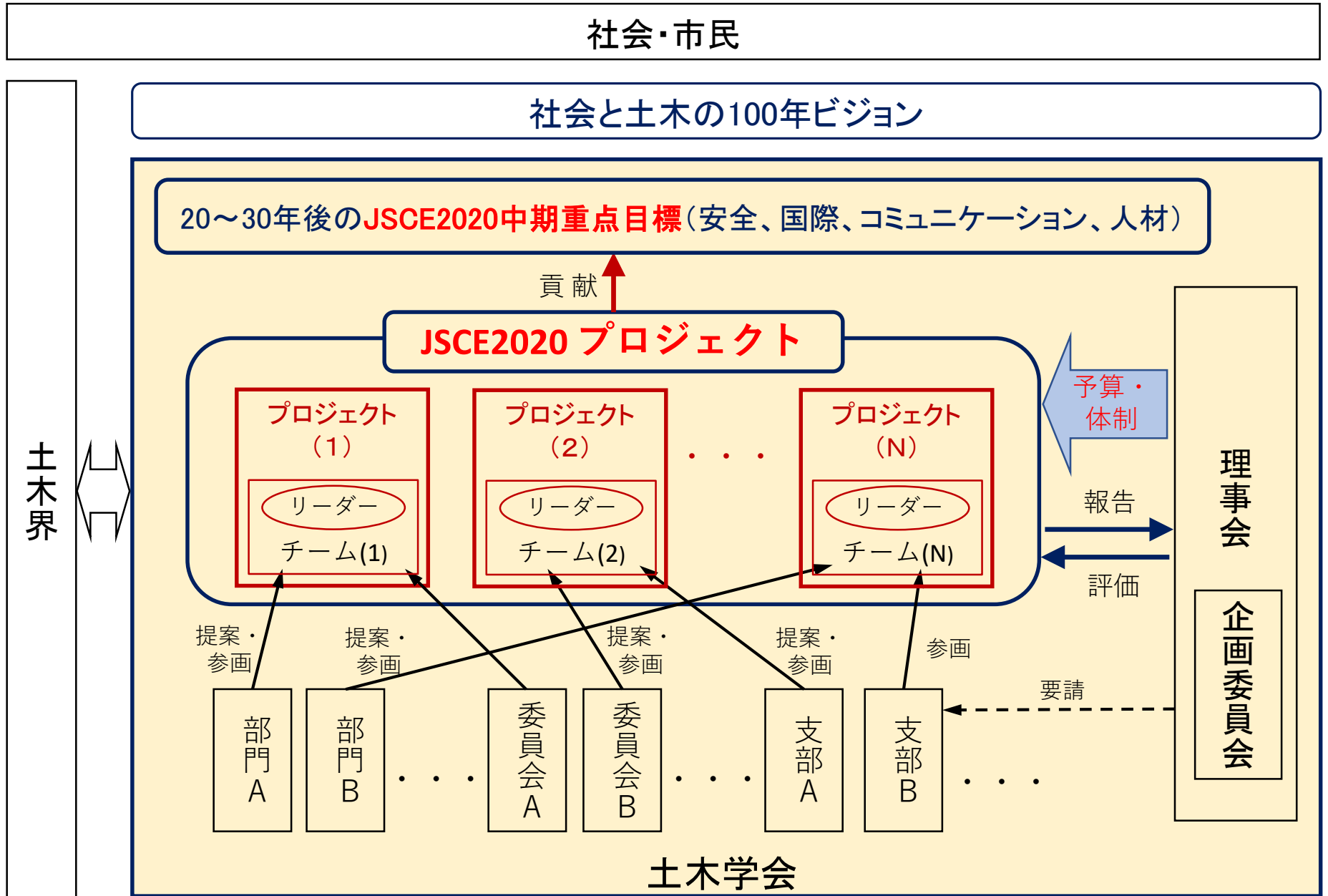
「JSCE2020プロジェクトとその実行性確保のための体制整備・予算措置等に関する基本方針」

2019年5月理事会；中期重点目標（案）の**パブコメ**実施承認

2019年7月理事会；**JSCE2020プロジェクト**の承認

2020年3月理事会；**JSCE2020実施計画**の報告

2. JSCE2020の概要



3. JSCE2020中期重点目標

(安全・安心):

安全で安心して豊かな生活ができる持続性の高い
国土再構成

(国際):

我が国が有する質の高いインフラの海外展開と
国際的諸課題の解決への主体的貢献

(コミュニケーション):

専門的知見に基づく公正な立場での対話と
情報蓄積・公開を促すしくみの整備と利活用

(人材):

次世代の土木技術者の育成と多様な人材が
活躍できる社会の実現

4. JSCE2020プロジェクト

①土木を軸に国難災害に立ち向かう

～複合・巨大災害の全貌解像と横断的対応体制確立～

プロジェクトリーダー: 目黒 公郎(東京大学), 20年度予算; 260万円

②メンテナンスの担い手を育て、インフラを守る

～インフラメンテナンスの確実な実施のための教材・人材開発と自治体支援を視野に入れた枠組み構築～

プロジェクトリーダー: 久田 真(東北大学), 20年度予算; 260万円

③土木映像の蓄積と活用

～映像クリエイターになって世界に伝えよう～

プロジェクトリーダー: 小松 淳(日本工営), 20年度予算; 260万円

④土木D&I 2.0へむけた活動の場とツールをつくる

プロジェクトリーダー: 佐々木 葉(早稲田大学), 20年度予算; 220万円₄

5. 中期重点目標達成のための計画(1)

(安全・安心) 安全で安心して豊かな生活ができる持続性の高い国土再構成

大項目	実施項目	アクション	JSCE2020 プロジェクト	主たる担当部門	
市民の安全 安心で豊かな生活の確保	持続可能な減災・防災システムの構築	南海トラフ、首都圏直下等の巨大地震災害や豪雨災害への対応	【減災・防災】 広範な知見を結集し災害の全貌を多角的・具体的に提示 土木を軸とした横断的体制の整備	調査研究、社会支援	
	国土の均衡ある持続的発展	インフラストックの適切な維持・更新	維持管理・更新に関する基礎研究・技術開発の推進と制度面の改善などの仕組みづくり	【メンテナンス】 メンテナンスの教材開発・ライブラリー整備 支部や地域大学、住民と連携した自治体支援 シンポジウムの開催	調査研究、技術推進機構、教育企画
			生産性の向上や作業安全性の確保		調査研究、技術推進機構
	地方創生の推進	産官学の連携の推進		会員・支部、社会支援、調査研究	
持続可能な環境保全の実現	環境の維持・向上(水質・生態系、廃棄物の発生抑制・適正処理、CO2・有毒ガス放出の抑制、地形の保全等)	SDGsを踏まえた他分野との協力・連携		調査研究	
	エネルギーの安定供給		調査研究		

5. 中期重点目標達成のための計画(2)

(国際) 我が国が有する質の高いインフラの海外展開と国際的諸問題への主体的貢献

大項目	実施項目	アクション	JSCE2020 プロジェクト	主たる担当部門
世界各国の安全・安心で持続的な可能な社会の実現	新興国等での土木技術者の育成	我が国が比較的得意とするハード能力、地域特性に応じたプロジェクト管理、契約管理等コミュニケーション、グローバル人材の育成への支援	【ダイバーシティ】 外国人技術者の交流の場の提供	国際、調査研究、教育企画、技術推進機構
	我が国の企業が海外展開を進める上での課題の明示と地域特性に応じた対応策	ソリューションの具体的な対応策の提示		国際、調査研究
	我が国のインフラ技術の海外への発信	我が国の優れたインフラの経験・技術の海外への発信	【メンテナンス】 メンテナンス技術の海外発信・連携 【土木映像】 災害調査等のニュース・情報の英文字幕・音声の付加発信	国際、調査研究、技術推進機構、コミュニケーション
環境分野や防災分野などの世界規模の諸問題への対処	産官学一体となって技術活動に取り組んでいる強みを生かした国際協働	国際社会が今後取り組むべき課題の明示と国際協調	【減災・防災】 減災・防災技術の国際連携	調査研究、国際
		アジア諸国へのインフラ展開や各国が抱える諸問題の解決に向けた、リーダーシップを持った活動		国際、調査研究、技術推進機構

5. 中期重点目標達成のための計画(3)

(コミュニケーション) 専門的知見に基づく更生な立場での対話の場と、
情報蓄積・公開を促すしくみの整備と利活用

大項目	実施項目	アクション	JSCE2020 プロジェクト	主たる担当部門
市民と土木技術者の良好な関係を構築できるコミュニケーションの場の提供	公共と市民による一層の協議と土木技術者の専門家としての役割の遂行	公共と市民の双方が互いの意見に耳を傾け、土木技術者が専門家として貢献できるコミュニケーション場の提供	【メンテナンス】 メンテナンスのあり方を問うシンポジウムの開催	コミュニケーション、会員・支部、調査研究
	災害対応に関する意思決定の仕組みの発信	災害対応の実態や減災・防災の研究動向、防災や維持管理に関する情報の発信	【土木映像】 災害調査等のニュース・解説の発信	コミュニケーション、会員・支部、社会支援、調査研究
市民との交流を一層活発なものとする活動	土木および土木技術者の社会的認知度の向上のための活動	選奨土木遺産、映画、出版、ゲームなどのコンテンツの社会への普及	【土木映像】 土木遺産、建設現場等の映像の公開	コミュニケーション、総務、出版、情報資料、会員・支部
		適時適切な情報の受発信と各種イベント開催の拡大		会員・支部
	地域と連携した活動とイベントの実施		コミュニケーション、会員・支部	
	土木技術の重要性や土木技術者の地位向上に関する情報発信	SNSなどによる情報発信		コミュニケーション、会員・支部、情報資料
情報の一元的アーカイブ機能の設置と市民社会における利活用	土木学会内外からの参照に応じられるように、全ての活動の記録を継続的かつ一元的に蓄積するアーカイブ機能の設置	アーカイブ機能の設置・マニュアルの作成	【土木映像】 土木映像マニュアルの作成	情報資料、コミュニケーション
		あらゆる部門、機構、委員会、支部および外部からアクセスされる仕組みの実現	映像プラットフォームの構築運用 【ダイバーシティ】 技術者のオーラルヒストリーの提供	情報資料、コミュニケーション、教育企画

5. 中期重点目標達成のための計画(4)

(人材) 次世代の土木技術者の育成と多様な人材が活躍できる社会の実現

大項目	実施項目	アクション	JSCE2020 プロジェクト	主たる担当部門
土木技術者、学生及び他分野の人々にとって魅力的で参加しやすい教育プログラムの拡充	企業などに依存している現役の技術者向けの能力開発の取組みの充実	オンライン講座の充実	【メンテナンス】 JMOCのコンテンツ作成	教育企画、技術推進機構 調査研究
		実体験を組み合わせたカリキュラムの展開		教育企画、技術推進機構 調査研究
		土木技術者制度・CPDの改善		技術推進機構、教育企画
土木界の人材が地域や他分野と連携し、リーダーとして貢献できる社会の構築を支援	減災・防災への対応	地域住民・行政・消防との協働	【減災・防災】 官・民・学の横断体制	社会支援、調査研究、会員・支部
	インフラ維持管理問題への対応	リーダーの育成 地域で活躍するNPO法人などとの連携と支援体制の整備	【メンテナンス】 住民参加型メンテナンス活動の全国展開 出前講座	社会支援、調査研究、会員・支部
	ICT, AI, BIM/CIM等のインフラ部門への導入促進			調査研究、技術推進機構
多様な人材の活躍できる場の構築	若手・女性・シニア・外国人等の人材が活躍できる社会の実現	ダイバーシティ確保のための環境整備の必要性の継続的訴え	【ダイバーシティ】 土木D&Iに関する情報の集約と発信	教育企画、企画
		外国出身者の場の提供	【ダイバーシティ】 外国人技術者の交流の場の提供	国際、教育企画、調査研究、会員・支部
	土木界における担い手確保の実現	生産性向上による魅力ある職場環境構築 多様な働き方の実現のための情報共有	【ダイバーシティ】 支部や他委員会との協力によるプロモーション等	教育企画、調査研究、企画 教育企画、コミュニケーション、会員・支部

6. 中期重点目標達成のため活動助成

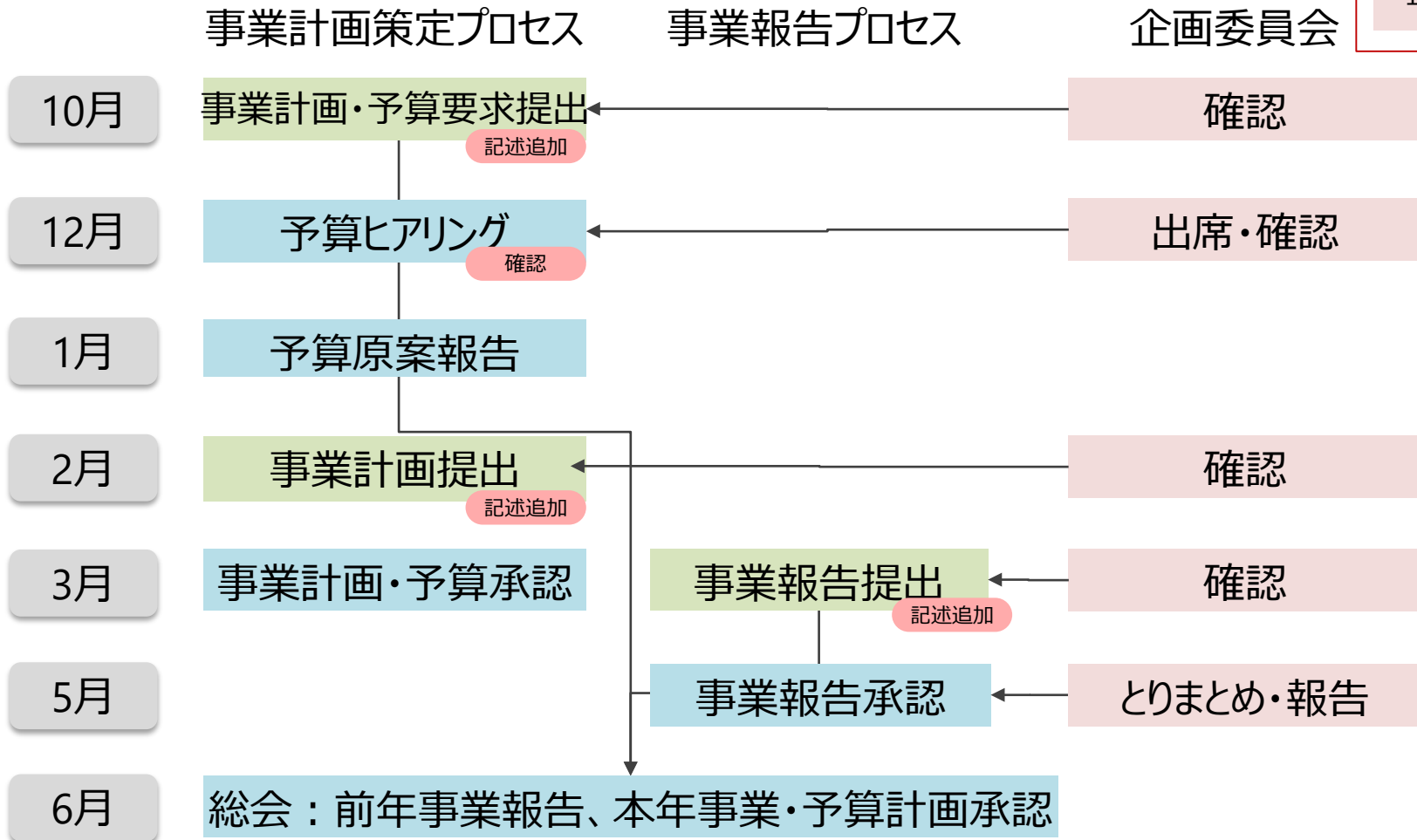
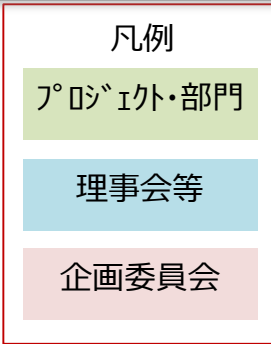
- ・本部(調査研究委員会含む)または支部が主催する活動計画を対象に、活動のための費用を補助する制度
- ・1件あたり10万円を上限とし、5件の採択を予定して、募集をかけたところ、11件の応募。

2020年度の助成対象活動

応募委員会・支部	タイトル	重点目標
コンサルタント委員会	土木ふれあいフェスタ in 台湾	人材
関東支部交流部会	外国人技術者交流サロン	人材
四国支部	土木若手技術者・地域インフルエンサーと協力した土木情報拠点の形成	情報・人材
中部支部	地方自治体と学会支部のダイアログ ～地方の災害復旧・維持管理と技術伝承	人材
中国支部	中学生を対象にした測量出前講座	人材

7. モニタリング計画(1)

既存の事業計画策定・報告のプロセスに則って、
進捗モニタリングを実施する。



7. モニタリング計画(2)

とりまとめと目標達成に向けたアクション

【企画委員会】プロジェクトの成果報告

- ・ プロジェクトの進捗状況を学会誌等に報告するとともに、成果報告会等を企画する。

【企画委員会】とりまとめと報告

- ・ 各部門事業計画・予算要求調書・部門報告およびヒアリング結果を踏まえ、毎年度末、目標達成状況に関する概況レポートをとりまとめ、理事会に報告するとともに、レポートを学会ホームページ等で公表する。

【企画委員会】目標達成に向けた提言

- ・ 期中および年度末の報告(プロジェクトの自己評価)を踏まえて、プロジェクトに対して目標達成に向けて、プロジェクトの継続や新規プロジェクト等について提言する。

【理事会】目標達成に向けたアクション

- ・ 企画委員会の提案に基づき、理事会は現行プロジェクトの継続判断や新規プロジェクトの追加、予算措置等を行う。

8. 広報戦略(案)

(1) Webページの作成

- ・策定の記録、活動実績、FAQ等を掲載

(2) 配布物の製作

- ・ポスター、リーフレット、会見用パネル等の作成
- ・ロゴの作成 等

(3) 記事掲載

- ・学会誌事務局ページで連載記事
- ・専門誌、業界紙等への記事掲載 等

(4) 行事の企画

- ・プロジェクトの成果報告会 等

策定の記録(案)

JSCE2020レポート

1. 総説

- 1. 1 JSCE20XX シリーズについて
- 1. 2 JSCE2015 総括
- 1. 3 JSCE2020 策定方針

2. JSCE2020 中期重点目標

- 2. 1 中期重点目標の策定方針
- 2. 2 中期重点目標の全文
- 2. 3 目標ごとのロードマップ

3. JSCE2020 プロジェクト

- 3. 1 実効性確保のための方策
- 3. 2 進捗確認モニタリング

4. JSCE2020広報戦略

5. おわりに

- 参考資料1 策定プロセスの記録
- 参考資料2 JSCE20XXに登場する計画等と改革
- 参考資料3 土木学会の組織・財務状況の変化(20年分)
- 参考資料4 会長特別委員会の履歴(20年分)
- 参考資料5 JSCE2015の活動履歴
- 参考資料6 土木学会を取り巻く社会の変化
- 参考資料7 中期重点目標の全体像
- 参考資料8 3つの使命と9つの機能
- 参考資料9 JSCE2020の広報に関する取組み
- 参考資料10 企画委員会名簿(2015～2019年度)

ロゴ(案)



JSCE 2020-2024

JSCE2020のキーワードから感じられるイメージや期待感, 未来への可能性を矢印で表現しています. 過去から未来へ, 人と人, 人と場所, 人と自然, 人に限らず, 様々なものを繋ぐ矢印です. また, このマークはJ, S, C, Eから構成されています.

(バリエーション)



名称の構成(案)

正式名称

土木学会 5 年計画

略称

JSCE2020-2024

副題

～ 地域・世代・価値をつなぎ^①、未来社会^②を創造する^③～

①: 時空間及び多様な価値を超えた情報発信・コミュニケーション・連携を表す(手段)

②: ハードおよびソフトのインフラを含めた将来の社会を表す(対象)

(未来の漢字には、「土木」が隠れている)

③: 土木技術者の能動的且つ独創的な行為を表す(行動)

引き続きのご支援、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。